

## (常磐まちづくり検討会)

### 令和3年度第1回ワーキンググループ会議 (HuLabo①②③合同開催)

#### 要旨

#### ■ 日時

令和3年10月6日(水) 18:30~20:00

#### ■ 場所

常磐公民館 2階 第1会議室

#### ■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 ワーキンググループメンバー紹介 (委員名簿により紹介)
- 3 挨拶 (都市計画課長)
- 4 議事
  - (1) ワーキンググループについて
    - ・別紙「説明資料」に基づき、市街地再生に向けた全体の流れ、ワーキンググループ設置の目的、検討の進め方について、事務局から説明がありました。
  - (2) 各施策案の概要と検討のポイントについて
    - ・別紙「検討資料」に基づき、各施策案についての事務局説明があり、その後、検討のポイントに基づき、意見交換が行われました。 ※意見交換の概要は後記参照
  - (3) 今後の進め方について
    - ・別紙「説明資料」に基づき、今後のワーキンググループ開催時期 (次回は11月下旬の開催を予定)、開催の方法、メンバーへの宿題 (期日は10月27日) について、事務局から説明がありました。
- 5 その他
  - ・特になし。
- 6 閉会



#### ■ 意見交換の概要 (要旨) ○ : 関係団体委員 ⇒ : 事務局・行政委員

##### 《方針1 ①駅前街区の再編 ②拠点施設・駐車場の整備 ③駅前広場の再整備》HuLabo①

- 提示された機能案については、駅前に必要な機能として正しいと思います。この機能を地域にあわせて運用していくことが大切になってくるのだと思います。
- ⇒ スパ+ヘルスという機能は、常磐湯本地区の特徴となるのではと考えています。また、整備された機能を上手く運用していくことが非常に重要と考えています。
- 公共施設再編については、少なくとも集客に繋がるような施設は駅前に持ってくるようにしてほしいと思います。
- 提示された機能案については非常によくまとめられています。現在、ご商売をされている方々が続けていけるという、サービスを提供する主役に焦点を当てた計画になっていって欲しいです。
- ⇒ 駅前でどのように土地を生み出せるかということを検討しています。その中には、当然生活している方、商売されている方がいらっしゃいますので、ご発言の内容を含めながら、検討を進めていきたいと考えています。

##### 《方針1 ④市営住宅天王崎団地跡地の暫定利用》HuLabo①

- 当該地の跡地活用は、ある程度の期間実施することを考えると、表参道の事例のように、コンテナや小屋などを設置し、飲食店や雑貨店が集約された小路、広場をつく

り、フラのまちオンステージなどもできるといいかなと思います。また、この跡地活用で出店したお店が、駅前の交流拠点の整備後も、湯本駅前で商売を続けていけるような形になることがいいと思います。

⇒ 事務局でも、ボックスを設置して、チャレンジショップ的な取り組みをイメージしています。今後、みなさんの意見をききながら具現化していきたいと思います。

#### 《方針1 ⑤公共施設の集約・複合化後の跡地活用》HuLabo①

(時間の関係上、今回は施策案の説明のみとなりました。)

#### 《方針2 ①湯本駅から御幸山公園までの道路景観整備》HuLabo①

#### 《方針2 ②御幸山公園や駅前緑地の改修》HuLabo①

○ 御幸山を変える(一部を削るとか)か、いまの姿を活かすかという議論があると思います。御幸山の下の駅前緑地に空間をつくりました。そこと一体となった交流拠点とするなど、何か特化したものとするべきかと思います。

⇒ 事務局でも、どのようなことが出来るのか検討して参りたいと思います。

#### 《方針3 ①空き店舗を活用した新規出店サポート》HuLabo②

○ 多くの方々に、湯本駅前に来て欲しいなと考えています。支援があるからやっているのではなく、自分の生業としてやっていけるのかと、きちんと見極められることが重要だと思います。そのため、チャレンジしたい人をむかえるためには、そのあたりも含め、長期的なサポートが求められると思います。

⇒ ご意見を踏まえながら、検討を進めていきたいと思います。

#### 《方針3 ②路上や空き地等を利用したにぎわいづくり》HuLabo②

○ 現在も湯本駅前の緑地を活用していますが、システムチックに行うには、まちづくり会社が必要と思っています。駅前緑地や鶴の足湯、そしてまちの中にポケットパークが点在し、使いやすいようになると、利活用の幅も広がっていくのかなと思います。

#### 《方針4 ①温泉神社周辺への滞留拠点の形成》HuLabo③

○ 観光客の目線での意見になりますが、全国各地の有名な温泉地では、光を使うなど、インスタ映えするような景観などがあるので、湯本の歴史を踏まえた景観が必要のかなと思います。

○ 特にモニュメントのようなものは必要ないのかなと思いましたが。また、鶴の足湯もあるので、同じ様なものではなく、足湯に入りながら飲食できるようなものとか、滞留拠点として一定時間滞在できる遊べる施設いいのかなと思います。

#### 《方針5 ①駅から温泉街までの道路景観の整備 ③安全な歩行者空間づくり》HuLabo③

○ 石畳だと、車いすや女性のハイヒールなど、移動に支障がでる場面もありますので、配慮が必要だと思います。

#### 《方針5 ②情緒ある夜間景観づくり》HuLabo③

(時間の関係上、今回は施策案の説明のみとなりました。)

#### 《方針5 ④まち歩きの促進》HuLabo③

○ 高齢者や障害者、子供たちが街に集まれるような交通体系システムづくりをお願いしたいです。いつでもどこでも交通手段が確保できるようになると、より街がよくなると思います。

- 駅前の街区が再編され整備がされていくことが想定されますが、バリアフリーの視点が重要だと思います。
- ⇒ バリアフリー・ユニバーサルデザインについては、今後は、市街地再生整備の地区や他の地区も含め、どのような形で歩きやすい街をつくれるかについて、検討してきたいと考えています。
- ⇒ 総合交通の体系については、市では新しい公共交通計画の策定を進めているところです。湯本駅前に都市機能が集約され、目的地として選ばれるようになるため、円滑に湯本駅に行ける交通体系が求められますので、みなさんと一緒に検討していきたいと思っています。